



小栗上野介情報74

ホームページHttp : //tozenji.cside.com/ Eメール : tozenji@clock.ocn.ne.jp

2019(平成31)年4月
発行:東善寺 住職 村上泰賢
群馬県高崎市倉渚町権田169
〒370-3401
Tel・fax:027-378-2230
〒振替0120-1-406206東善寺

〈予報〉

今年は非命151年(152回忌)です

小栗まつり

主催 小栗上野介顕彰会 5月26日(日)
共催 東善寺



◆小栗まつり ボランティア募集

前日(土)13:30分集合 テント張り、テーブルイスのセッティング、参道の清掃など。遠方の方は温泉付き宿泊可/雨具、作業服、着替えなど持参/事前予約制→東善寺へ

◆小栗まつり 昼市出店募集

手作り品などの出店歓迎/テント・テーブルは貸します/出店料無料/事前予約制→5月15日までに東善寺へ

式典 挨拶・祝辞 午前 10時～ 倉渚小学校体育館で(東善寺から300m)

講演 作家 原田 伊織

小栗上野介と「徳川近代」

『明治維新という過ち』(毎日ワンス)で知られる著者が、近刊の『消された「徳川近代」—明治日本の欺瞞—』を基に、明治政府が学校教育で隠してしまった小栗上野介ら幕末の大事な人物と「徳川近代」を語ります。

墓前祭 午後 1時～ 東善寺境内で

奉納剣舞 会津一刀流剣詩舞 胸像前で

墓参 読経・献香 どなたもお参りできます

演奏会 倉渚中学校吹奏楽部 群馬マンドリン楽団

昼市 午前11時～ 境内で たのしい店、おいしい店がたくさん

・海軍カレー・ソバなど軽い昼食もとれます。 甘茶・ナメコ汁無料

◆乗合ジャンボタクシー◆ 運行します 東善寺

往復1便だけ当日限定運行/先着9人まで・予約制・片道2000円(運転手に支払って下さい)

◆26日

往・高崎駅西口9:00 → 9:50倉渚小学校 下車

復・東善寺前(権田郵便局前で)乗車15:00 → 15:50高崎駅

※下車・乗車地が異なります。ご注意ください。

※途中乗車は出来ません。

予約申込: 榛名観光タクシー027-343-0020(担当・久保田)

悲惨!! 何とかならないかー 中島飛行機発祥の小屋

小栗上野介顕彰会 尾島、太田で中島飛行機の史跡探訪

◇中島飛行機は、中島知久平が明治40年に横須賀海軍機関学校を卒業、海軍工廠に勤めながら飛行機の研究をするうち民間の飛行機製作が大事と発起し、1917大正6年、故郷尾島に元養蚕小屋を借り「飛行機研究所」を興したことに始まる。

◇4月9日、地元の正田雅造氏(正田クリエイティブ会長)の案内で小栗顕彰会有志が史跡探訪をしたところ、なんと初めに研究所を置いた養蚕小屋がまだ現存しているという。心躍らせて訪ね、驚いた。年月が経過しもはや倒壊寸前の状況であった。倒れてしまったら、目印が何もなくなる。

◇尾島の研究所から太田町に拠点を移して「飛行機製作所」を興し、呑龍工場で生産を開始。技師や職工が全国から集って人口が増え、たちまち大きな町になったことに太田市の発展の基がある。その影響は現在もスバル自動車やパナソニックに引継がれ、中島飛行機の有形無形の遺産は、太田～群馬県内～全国にたくさん及んでいるはず。

◇知久平は初めに呑龍工場の地を斡旋してくれた人への恩義から、太田を離れなかったという。その太田市発展の基となった原初の小屋を朽ち果てさせ、後世の太田市民がそういう歴史を知る手がかりを失っていいのだろうか。

右 中島が飛行機研究所を興した小屋の現状 あと数年で倒壊しそうな状況
下 中島が大正六年に飛行機研究所を興した元養蚕小屋(尾島町前小屋・岡田家)
人物は左から奥井定次郎:横須賀造船兵部の製図工、佐久間一郎:横須賀海軍工廠製造機部、佐々木源蔵:盛岡の工業学校卒、らが写っている



情報あれこれ

倉渚小学校5、6年生が描いた

◆♥小栗トランプ♠♣が出来ました



倉渚小の田中克彦教諭が指導する総合学習の一環で5、6年生が描いた「小栗トランプ」が出来上がりました。様々な資料から選んだ人物、遣米使節の旅、帰国後の業績、などについてのびのびと描

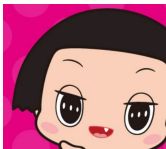
かれています。

自分の分担を一生懸命描いた子供たちは、友達の絵を見て小栗上野介のたくさんの業績を知り、もっと小栗様のことを知りたいという感想を持つなど、いい経験となったようです。

◆希望者に限定数を販売します。600円（原価です）

◆NHKの人気番組 5月3日、4日放映

「チコちゃんに叱られる」で 小栗上野介のネジ釘を紹介



小栗公がワシントン海軍造船所見学の際に蒸気機関で機械生産していたものをもらってお土産としたネジ釘（東善寺蔵）。そこはあらゆる鉄製品を製造する総合工場であり、「日本もこういう物をどんどん作れる国にしたい」という思いで持ち帰り、配ったと思われる一本です。



お土産にもらった人はどうしたか…？

使えなかったはず。

なんで…？

ぼーっと生きてるんじゃないよ！

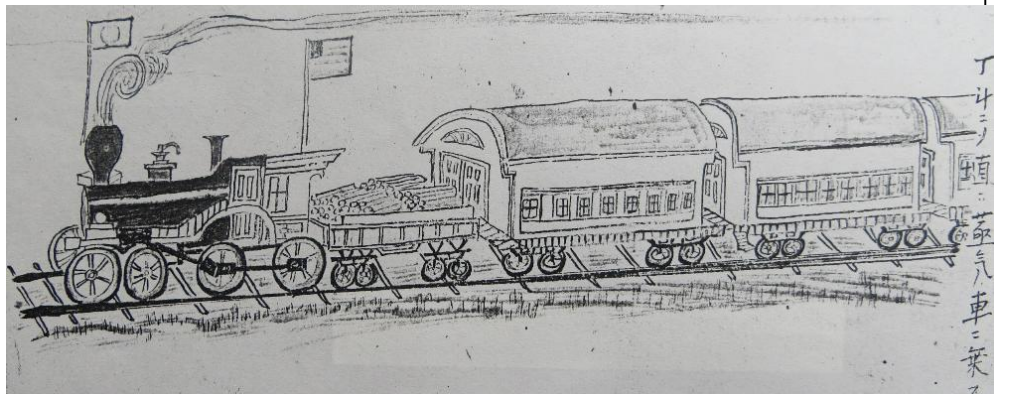
——とチコちゃんに叱られないよう、考えましょう。

本 ◆パナマ大統領に贈呈された

『小栗忠順従者の記録』

4月3日～6日来日し天皇皇后両陛下と面会したパナマのバレー大統領に、小栗上野介の従者で権田村名主の佐藤藤七が描いた「パナマ鉄道の絵」が載っていることから、出版社三冬社の佐藤公彦社長が贈呈しました。佐藤社長は日本一パナマ友好に尽力していて、パナマ鉄道建設の小説『黄金の馬』を出版しています。

パナマは交通渋滞緩和のため、運河をまたぐモノレール3号線建設を日立製作所に正式に発注。完成した駅にこの絵を記念プレートにして、日本一パナマの友好記念として掲示する企画もあります。159年前の名主の絵が役立つとは…。ぜひ実現させたい企画



▲遣米使節一行が乗ったパナマ鉄道：村上泰賢編著『小栗忠順従者の記録』（上毛新聞社刊）の佐藤藤七「渡海日記」よりです。

◇幕末の歴史・小栗上野介ファンの方へ

会員登録してください——東善寺「たつなみ会」



倉渚町の小栗上野介顕彰会ではさまざまな顕彰活動をしています。倉渚地区の人口減で顕彰会員も減っております。東善寺の「たつなみ会」会員には顕彰会機関誌『たつなみ』を発行のつど顕彰会から購入してお送りし、誌代が顕彰会の活動資金に役立っています。また東善寺発行の「小栗上野介情報」や「東善寺だより」などで、小栗上野介・幕末関連の最新情報をお送りします。

□お申し込みは：東善寺へメールまたは電話、ハガキで

本

◆新刊◆
小学館発行

消された

「徳川近代」

—明治日本の欺瞞—

◆筆者原田氏は「徳川近代」という新しい造語を駆使して、「日本の近代化は明治以後」という明治依頼の学校教育の欺瞞を指摘している。

◆「明治に改元される5か月前、幕臣

小栗上野介忠順が新政府軍に取り調べを受けることなく斬首。後に大隈重信によって「明治政府の近代化政策は、小栗忠順の模倣にすぎない」とまで称された逸材である。本書は、横須賀に製鉄所、築地に日本で最初の本格的なホテルを建造した小栗の歩みを照射することで、徳川幕臣らによって進められていた「近代化」の全貌をひもときます。

さらに、咸臨丸でアメリカに渡った遣米使節の一員だった秀才・小野友五郎、伊豆にあって近代化に奔走した江川英龍など、ニッポン近代化の礎として活躍した幕府のテクノクラートの足跡を辿り、なぜ彼らの功績が埋没したかを検証。抹消された歴史の真実を解き明かします。」（小学館HPより）

◆平成27年に無理やり世界遺産に押し込んだ「明治日本の産業革命遺産」の23もの施設は、原動力がほとんどが水力。中には「足踏みふいご」まである。これで本当に水力で日本の産業革命が出来たのか？ 中学生だって疑問に思うせいぜい努力遺産です。

富岡製糸場、中島飛行機、日本のモデル鉱山となった生野銀山に大きな影響を及ぼし、たくさんの優秀な人づくりで技術を磨いた「日本近代工学の源泉」（司馬遼太郎）横須賀造船所を、幕府の残した業績だから表に出さないのが明治政府以来の学校教育。その風潮は今も続いている。

本 『万延遣米使節における

アメリカ体験の諸相』

岡林伸夫・萌書房・2,200円＋税

遣米使節のうち副使村垣淡路守範正、従者の仙台藩士玉蟲左太夫、加賀藩士佐野鼎の3人を取り上げ、それぞれが遭遇するアメリカ体験をどう捉え、どう咀嚼し、どう変容していったかを綿密に検証している。

